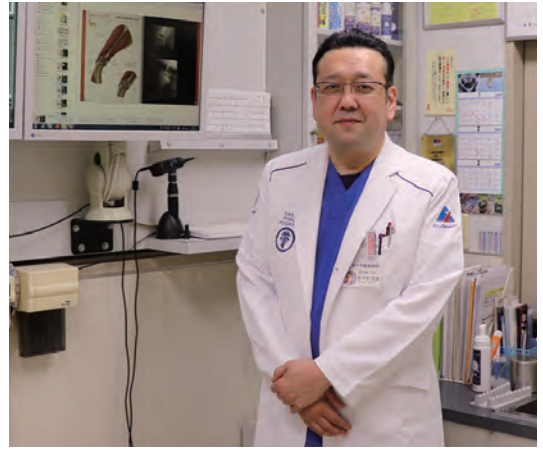


幼い頃から手先が器用で一時は芸大進学を目指していたという佐々木さん。しかし、絵描きで食べ歩いていくのはなかなか難しいと、ペットショップを営む父親の勧めで獣医師の道を進むことに。大学卒業後は大学付属病院や有名な病院での診察や手術、研究に没頭する日々を送り25年前に帰郷し、病院を開院しました。また、6年前には獣医仲間らと共に、ベトナム国立大学と提携した「ホーチミン佐々木動物病院」を開院。日本の医療技術を伝えると共に後進の育成のため支援を行っています。「治療を施すのは動物ですが、その飼い主様への説明も大切。愛するペットをちゃんと診てもらえる安心感」は技術と共にしっかりと提供しなければいけない部分だと感じています」



佐々木動物病院
(飯田市鼎中平)

獣医師・院長
佐々木将雄さん

ON/OFFを のぞき見!



数ある症例やデータを駆使し、飼い主の方に説明と納得をしていただき、治療を行う。来院毎にペットの状態や症状、処置の内容を記載したレポートを作成している

日々、仕事に追われる中での癒しは家族や友人、同僚らとの食事の時間。写真はベトナムのスタッフとの食事会の様子

フレッシュズヘー言!

新人の頃は失敗して当たり前。失敗を恐れずいろんな経験を積んでください。責任は上司がとるもの。しかし、“責任感”はしっかり持つことが大切です。また、苛立った時は一呼吸置くこと。すぐ人のせいにせず、自分に悪かったところはなかったか考えてみましょう。

センパイに質問!

- Q** 働く前にやっておいてよかったことは?
- A** 自分の研究以外に先輩や後輩の研究にも参加したこと。時間を使ってでも気になったものはやっておく。その経験が実際の現場で役立っています
-
- Q** これまでに言われた心に残っている言葉は?
- A** 恩師に言われた「獣医師である前に、社会人でありなさい」。ある程度仕事がこなせるようになった時に言われ、改めて初心に戻らされた言葉でした
-
- Q** よく行くおすすめの飲食店は?
- A** 同級生が営む「四季料理 亀山」。この料理は最高です
-
- Q** 欠かせない仕事道具は?
- A** 聴診器。骨の病気の時もまずはその仔の健康状態を一通り調べます。心臓音も正常な音を毎日聞き、耳にインプットしています
-
- Q** 動物と仲良くなるコツを教えてください!
- A** 目を見てスキンシップを図ったり、しゃべりかけてあげること。動物も人間と同じで手で触れられると安心するんですよ